

1 言葉の単位

1 - 1

1 言葉の単位…言葉の単位は、大きい順に、文章・段落・文・文節・単語となる。

① 文章

論説文・小説・随筆・手紙文・日記・詩・短歌・俳句・脚本などがある。

② 段落

段落の初めは行を改め、最初の一字分を下げて書く。こうした形の一つ一つの段落を「形式段落」といい、意味上のまとまりから、いくつかの形式段落をひとまとまりにしたものを「意味段落」という。

③ 文

最も基本的な単位で、終わりに句点(。)をつける。

④ 文節

一文「バラの花が散る。」に「ね」を入れて読み直してみると「バラの(ね)/花が(ね)/散る。」のように自然に「ね」を入れることができる。この/で区切られた「バラの」「花が」「散る」の一つずつを文節という。

⑤ 単語

文節を構成する最小の単位で、それ以上分けられないもの。

文節を単語に分けると、文節は必ずその言葉だけで意味が通じる単語(「自立語」という)で始まる。そのあとにその言葉だけでは意味が分からない単語(「付属語」という)が続くことが多い。

例えば「バラの花が散る。」では、文節「バラの」は「バラ(自立語)/の(付属語)」、文節「花が」は「花(自立語)/が(付属語)」、文節「散る」はそのまま「散る(自立語)」という単語に分かれる。